

町の考え方を問う

一般質問

6月定会では、観光問題・環境問題など、町政全般へ10人の議員が19項目にわたる一般質問を行いました。なお、質問者及び質問項目は、左の表のとおりです。

- 勝俣 公好 (P4)
 - ・箱根町と南足柄市を連絡するルート案の絞り込みについて
- 石川 栄 (P4)
 - ・指定管理者制度について
 - ・旧仙石原中学校校舎跡地利用について
 - ・生涯学習社会について
- 村野 由紀子 (P5)
 - ・学校教育について
 - ・箱根町第5次総合計画について
- 山田 成則 (P5)
 - ・観光客の動向と駐車場問題について
 - ・町立の学校内においてのいじめ問題について
- 遠藤 秀則 (P5)
 - ・福祉施策推進の基本的考え方について
 - ・公共施設の見直しと部分の統合について
- 村上 東司 (P6)
 - ・平成23年度における誘客宣伝事業について
- 川端 祥介 (P6)
 - ・箱根町の震災対策について
 - ・箱根町の税収見通しと、税源確保について
 - ・廃棄物処理の現状と課題について
- 勝俣 剛一 (P6)
 - ・個人住民税特別徴収について
 - ・住宅用太陽光発電補助事業について
- 稲葉 親太郎 (P7)
 - ・環境先進観光地一箱根推進施策の進捗状況について、電気自動車普及と町内インフラ整備について
- 山田 和江 (P7)
 - ・防災対策について
 - ・国民健康保険料の負担軽減について

市備 都整

箱根町と南足柄市を連絡するルート案の絞り込みについて

Q ルート案の中には他にも宮城野地区へのDルート案があったと思いますが、なぜCルート案に絞り込まれたか

A ルートの絞り込みは「自然環境」「経済性」「整備効果」「既存ストックの有効活用や早期利活用の可能性」の4つの選定要素を総合的に検討した結果、既存林道を活用することにより経済性に優れ、また、交通の分散による渋滞緩和や災害時の緊急輸送に寄与するなど、整備効果が見込まれると同時に早期利活用の可能性が高いCルートに絞り込んだ。

Cルートの事業費は約90億円程度と試算。既存林道を活用するため、トンネル構造のルートや新設道路のルートに比べて、事業費が少なく済むことや早期に活用できる可能性が高いなど、総合的に判断して他の4ルートよりも優れていると判定された。

一方、Dルートは、ルートの大部分がトンネル構造

企画

旧仙石原中学校校舎跡地利用について

Q 町の財政が厳しいことも十分承知しているが、跡地を売却する方向で考えているのか

A 現在のところ直ちに売却するといった考え方はない。

今後においては、昨年度の検討結果を踏まえ、まず、事業者の募集までに必要となる募集要件、要求水準の策定等の事務処理を進めていきたい。跡地利用については、今後の事業者募集やその応募の状況を見ながら、地域振興に資する有効活用についても考えていきたい。

Q 仙石原地域住民の憩う場所の一つとして、観光客が憩える場等として、地域住民の意に沿った有効利用が出来ないか

A 今後の募集にあたり事業手法の選択肢を狭めることになる可能性もあることから、事業者の応募の状況を見ながら、その結果によっては、考えてみたい。

なお、事業者募集の際の条件として、旧仙石原中学校の屋内運動場、格技場及び屋外運動場の継続利用等、地域住民の利便性を考慮す

る予定である。

Q 県道75号線の歩道と、園の回遊道の考えと、跡地の両サイドに桜や紅葉を植えるか、宮城野のように吉野桜がしだれ桜を植え、観光客を湿生花園に誘導できるのではないか

A すすき草原を含めた回遊性を高めることについては、箱根都市計画マスタープランにも位置付けているところであり、来園者数が減少傾向にある箱根湿生花園にとりまして、来園者増加策としての新たな導線を作り出すことが必要であると考えている。また、跡地周辺における桜等の植栽は、新たな地域資源を作るといふ点では良いご提案であると思う。四季折々の自然環境を活かしたまちづくりは、時代のニーズにマッチしていると思うが、植樹後の維持管理の面も含め、検討する余地が多いと考えている。

いずれにしても、公募を予定している旧仙石原中学校跡地の活用状況を見ながら検討していきたい。